

STEP0

事前準備工事

仮設駐車場整備

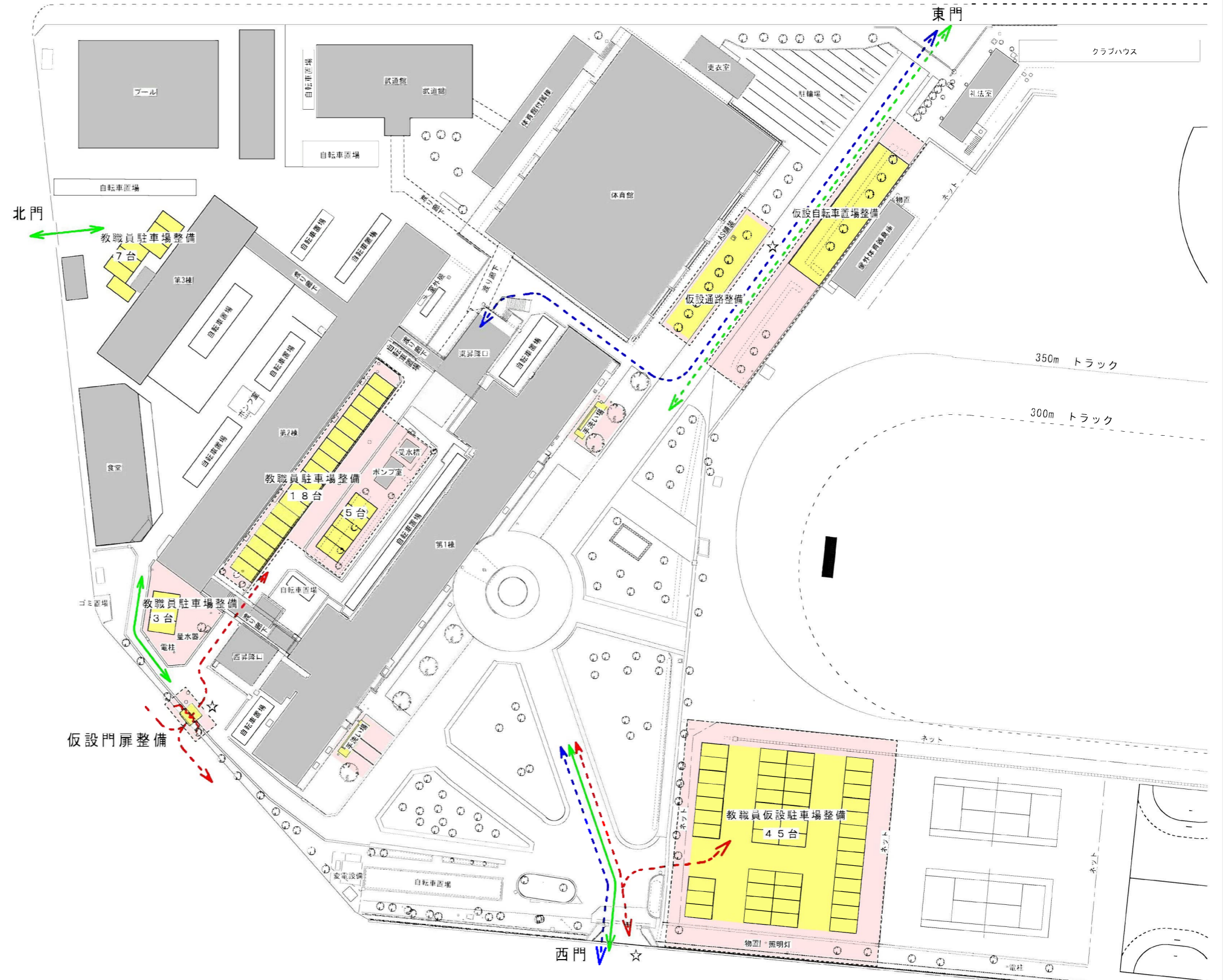
仮設自転車置場整備

仮設通路整備

仮設門扉整備

凡 例

- ☆ 警備員
- 仮囲い (安全鋼板H=3m)
- 工事関係者車両動線
- 学校関係者車両動線
- 学校関係者歩行動線
- 生徒通学動線
- 外部足場
- 防音シート
- 撤去、駐車場整備工事
- 既設建物
- 仮設自転車置場
- 工事エリア (立入禁止)



生徒・学校関係者のアクセス導線確保

南側の仮設駐車場を冬休み中に整備することで、学校関係者のアクセス導線を確保する。

西側の定時制及び、学校関係者の車両動線 (給食用) は、昇降口前の道路境界上のフェンスを一部撤去し、冬休み中に入出口と仮設駐輪場を確保します。これにより、定時制生徒用のアクセス導線を確保する。

STEP1

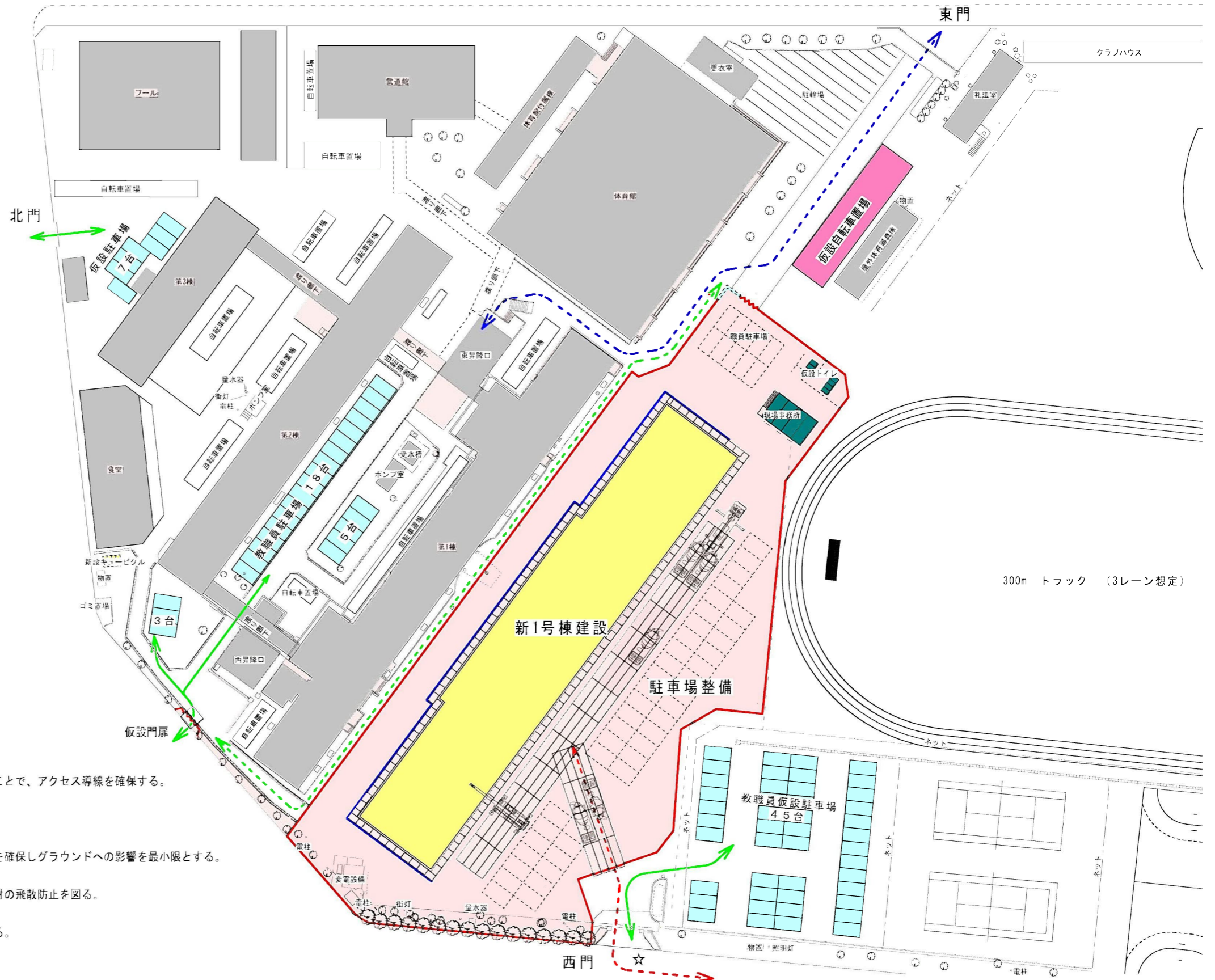
新1号棟建設工事

新1号棟建設工事

駐車場整備工事

凡例

- ☆ 警備員
- 透明仮囲い
- 仮囲い（安全鋼板H=3m）
- 工事関係者車両動線
- ← 学校関係者車両動線
- 学校関係者歩行動線
- 生徒通学動線
- 外部足場
- 防音シート
- 建築工事中建物
- 建築工事完了建物
- 既設建物
- 仮設自転車道場
- 工事エリア（立入禁止）



生徒・学校関係者のアクセス導線確保

西門は教職員用の仮設駐車場利用と、工事車両動線を完全に分離させることで、アクセス導線を確保する。

新校舎建築工事における配慮事項

前庭舗装等を先行撤去し、工事ヤード内に資材スペースや作業員駐車場を確保しグラウンドへの影響を最小限とする。

既存校舎側には防音シートを設置し、学習エリアへの騒音抑制及び、資材の飛散防止を図る。

仮囲いのコーナー部分にはクリアパネルを配置し、生徒の安全に配慮する。

付帯工事（駐車場・前庭）における配慮事項

新校舎の付帯工事（駐車場・前庭）は、新校舎建築工事の期間中に併せて整備します。一体の施工として引渡しを計画することで、生徒の皆さんが、授業に集中出来る学習環境を確保する。

駐車場の整備工事は、西門で学校関係者（主に教職員用）車両と、工事車両の動線が重複する期間が少なくなるように配慮して計画する。